

●●町立●●小学校
(低学年向け)

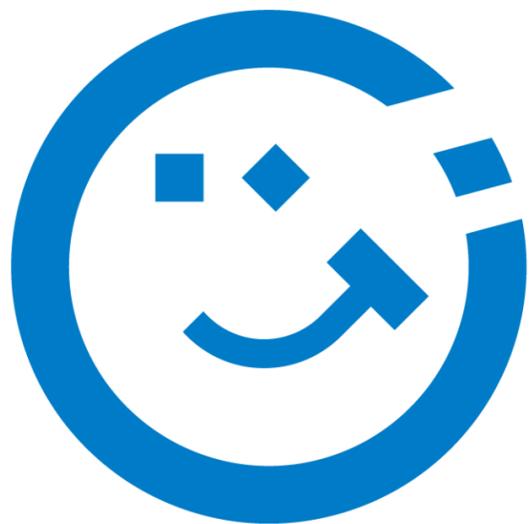
おこづかいから まなぶ
かね はなし
お金の話

J-FLEC
金融経済教育推進機構

○年○月○日



○ J-FLEC(ジェイフレック)は、『お金の勉強をみなさんに
とどけるため、2024年にできた団体』です。



J-FLEC

もくじ

1

かね
お金って
なんだろう？

2

おこづかいの
つかいかた

3

かね
お金を
ためてみよう

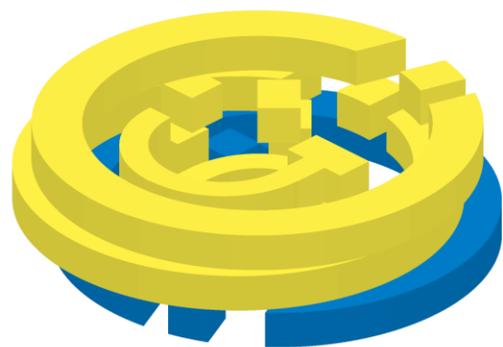
4

(保護者の方へ)
お子さまへの
金融経済教育



かね

① お金って なんだろう？

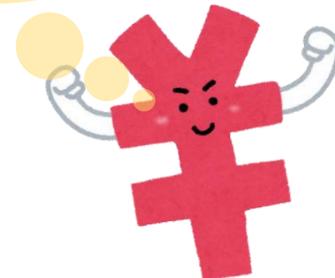


クイズ



日本の ^{かね} お金は いくつある？

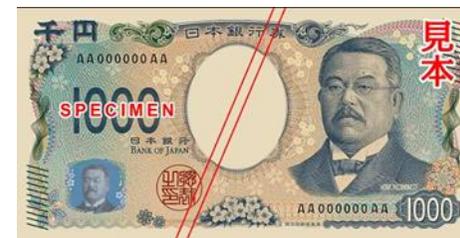
^み 見たことがあるお金を
^{おも} ^だ 思い出してみよう！



こたえ

^{かね} 日本の お金は ^{しゅるい} 10種類！

紙幣(しへい) ⇒ ^{かね} かみでできたお金(お札) ^{さつ}



10000円(いちまんえん) 5000円(ごせんえん) 2000円(にせんえん) 1000円(せんえん)

貨幣(かへい)・硬貨(こうか) ⇒ ^{かね} きんぞくでできたお金



500円



100円



50円



10円



5円



1円

(出所)日本銀行「現在発行されている銀行券・貨幣」
財務省「二千円日本銀行券の主な様式等について」「通常貨幣一覧」をもとに作成

○ こんなことは ありましたか？ おもいだして みよう！

^{うち} お家で かぞくの おてつだいを したとき



「ありがとう」と ^い 言われた

ほめられた

ごほうびに おこづかいを もらった

^{ひと} 「人が よろこぶこと」 や 「^{ひと} 人の やくに たつこと」 をすると
「ありがとう」と ^い 言って もらえたり
ありがとうの きもちとして お金^{かね}を もらうことが できます

J-FLEC ① おとなの ^{ひと}人は どうやって ^{かね}お金を もらっているの？

○ おとなは 『^{ひと}人の やくに たつこと』 や 『^{ひと}人が よろこばこと』 をして ^{かね}お金を もらっています。



たとえば・・・

おいしゃさんは びょうきの ^{ひと}人を
なおして ^{かね}お金を もらって います



がっこうの せんせいは みんなに
べんきょうを おしえて ^{かね}お金を
もらって います

クイズ

?

このなかで お金^{かね}をはらわないと いけないのは
いくつあるでしょう？

- ①おかしを かう
- ②すいどうや でんきを つかう
- ③でんしゃに のる
- ④びょういんで ちりょうをうける



こたえ

①～④ぜんぶ

おかしを かったり でんしゃに のったり するときは もちろん
すいどうや でんきを つかったり びょういんで ちりょうをうけたり
しても お金^{かね}を はらわないと いけません



クイズ

?

あなたは ケーキ屋さんで はたらいています。
どうしたら みんなが よろこんで ケーキをかってくれ
る でしょうか。

- ①いろいろな ケーキを つくる
- ②ねだんを あげる
- ③1つかったら、もう1つプレゼントする
- ④ケーキに のせる いちごを ふやす



こたえ

②いがいは
どれも せいはい

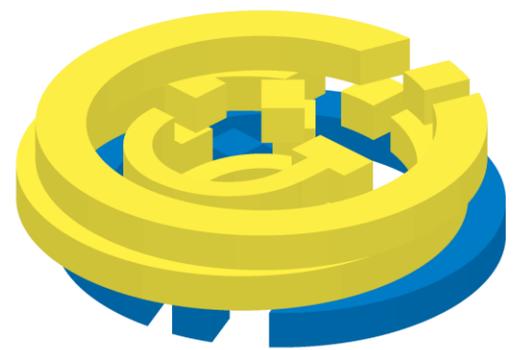
- ①いろいろな ケーキを つくる
- ②ねだんを あげる
- ③1つかったらもう1つプレゼントする
- ④ケーキに のせる いちごを ふやす

みんなに ケーキを よろこんで かってもらうために
おみせの ひとは いろいろな くふうを しているよ!

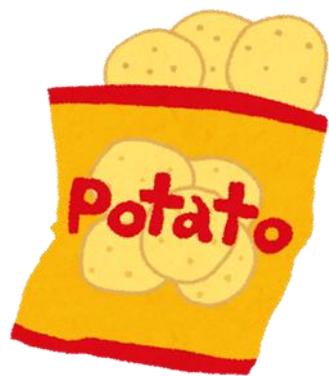




② おこづかいのつかいかた



○ おこづかい 300^{えん}円を もって かいものに いきました。
ほしいものを ぜんぶ かうと お金^{かね}が たりません。
みなさんは どうするか かんがえて みましょう。



¥200



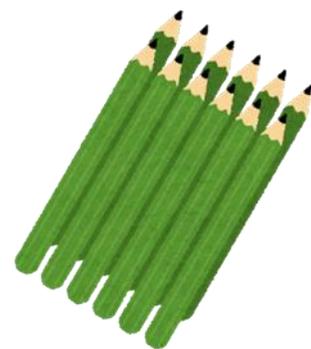
¥100



¥100



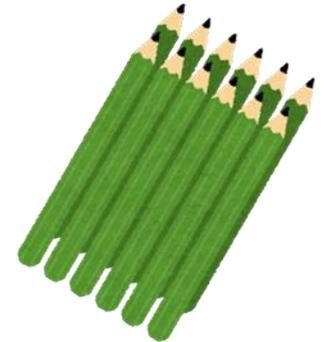
¥200



¥200



たとえば・・・



¥200

¥100

¥100

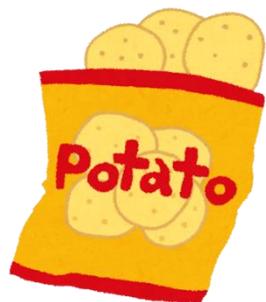
¥200

¥200

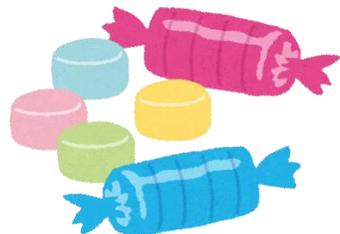
benkyou ni hitz you na enbitsu to no mitai jusu o kau

ジバンの もっている お金で ^{かね}かえるものを えらんで かいましょう

○ おこづかい 300^{えん}円で なにを かうか かんがえて
みましょう。



¥200



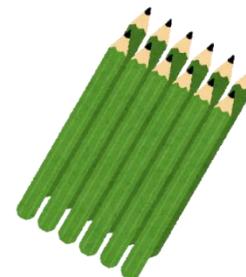
¥100



¥100



¥200



¥200



¥100



¥100



¥200



¥300



¥300

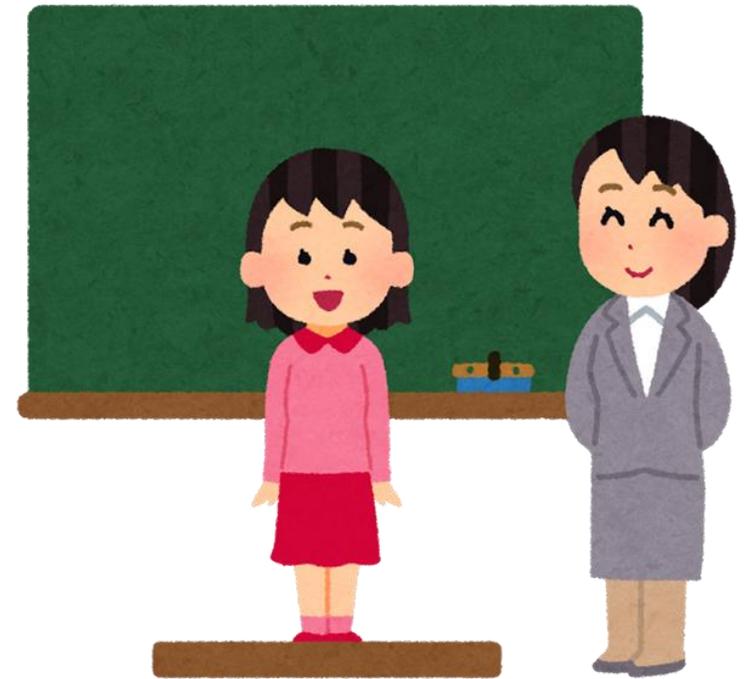
○ みんなはなにを かいますか？

かうものをはっぴょうしてみましよう。

○ はっぴょうのポイント

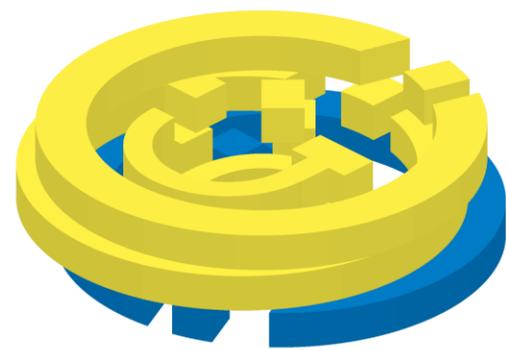
1. かう ものと かう りゆう
をはっぴょう しましよう

2. かう ものが 300^{えん}円を こ
えていないか きを つけま
しよう





3 ^{かね} お金をためてみよう



クイズ

?

ゲームソフトを かおうと おもったら ねだんは
5000円えんでした。おこづかいは 1000円えんしか
ありません。どうすれば よいでしょうか。

- ①がまんする
- ②こっそり もっていく
- ③おかね金を ためてから かう
- ④おうちの ひとに そうだんする



こたえ

②いがいは
どれも せいはい

①がまんする

②こっそり かね もっていく

③お金を ためてから かう

④おうちの ひとに そうだんする

かうまえに よく かんがえてみよう！

「かっても あまり あそばないかも しれない」
「どうしても ほしい ゲームソフト じゃない」

というときは がまんする ことも たいせつです。





かね
○ お金をためることで ほしいものを かえるようになり
ます。おこづかいや おとしだまをためる ことも かんが
えてみましょう。



『まいつき おこづかいを 100^{えん}円 ためる』 『おとしだまの
はんぶんは ちょきんする』 など ルールを きめて おくと
かね
お金^{かね}が たまりやすくなるよ！



○ きょう べんきょう したことを まとめて みよう

- おとなの ひとは ひとの やくに たつことや ひとが よろこぶ ことをして お^{かね}金を もらっているよ
- でんきや すいどうにも お^{かね}金が かかっているよ
- もっている お^{かね}金で かえるものを かおう
- お^{かね}金が たりないときは がまんするか お^{かね}金を ためてから かうように しよう



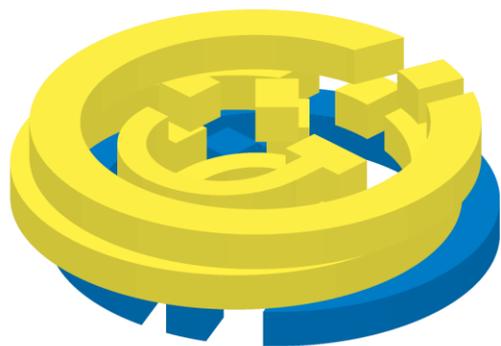
かね
○ちよきんばこを つくって お金を ためてみよう！



4

(保護者の方へ)

お子さまへの金融経済教育



○ 子どもに対する金融経済教育の重要性が高まっています。

- **キャッシュレス決済**の浸透
- ネットショッピングの利用増加

- 成年年齢の引き下げ
(18歳になると契約ができる)

- 
- ◆ 現金のやり取りを目にする機会が減り、金銭感覚を養うことが難しくなっています。
 - ◆ 小学生でも、オンラインゲームの課金トラブルや友達同士のお金の貸し借りなど、トラブルが発生しています。



- 金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な『**お金に関する知識や判断力**』のことです。
- 金融リテラシーを身につけることは安心した生活に繋がります。

金融リテラシーが高いと…

- 将来のために計画的にお金を準備することができる。
- 詐欺などの金融トラブルにあうことが少ない。
- **お金の管理がしっかりしているので、経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる。**



○ 家庭での金融経済教育は、子どもの成長や理解度に応じて段階的に行いましょう。

【小学生】
知識・技術の習得

- お金の流れを理解する
- スマホの課金等のルール作り
- おこづかいを始める



【中学生】
将来のことを考える

- 親の仕事(収入源)について改めて話をする
- 社会にはさまざまな職業があり、生活に密接に関わっていることを理解する
- 社会やニュースに興味を持つ
- 「夢」や「目標」を書き出してみる

- 小学校低学年の子どもには、お金はどこから得られ、どう使われるのか等の『**お金の流れ**』を理解してもらいましょう。
- 子ども自らが「小さな失敗」を経験することも大切です。少しずつお金の経験をさせていきましょう。

説明することの例

- お金は、親や保護者が働いて得たもの
- お金や物の大切さ
- お金を支払うことの意味
(ネットショッピングやカード支払いでも
お金は減る)

子どもに「お買い物体験」を
させてみましょう。



- 小学校中学年以降の子どもは、活動範囲が広がり、友達が持っているものを自分も欲しがることが増えていきます。
- 『おこづかい』を渡すことで、『お金を計画的に使う』・『お金を貯める』ことの大切さを伝え、身につけさせましょう。
- 友達同士でも、『お金の貸し借りはNG』だと伝えましょう。

金銭感覚を養うために

- 使ってよいお金には限りがあることを理解させましょう。
- 「必要なもの」と「欲しいもの」を区別し、「必要なもの」を優先することを教えましょう。



おこづかいの渡し方の例



- おこづかいを渡す際には、「どう使う予定か」を子どもと話し合ひましょう。
- おこづかい帳を使って記録し、月末に振り返りましょう。
- 現金のほうが増減が分かり、管理が身につけやすいです。